

IV 野 菜

1 土づくりについて

- (1) 深耕や心土破碎で、作物が養水分を吸収できる場を広げる。
- (2) 有機物の施用で土壌の理化学性を改良する。
- (3) 透水性をよくするため、暗きょ排水等により土壌中の停滞水を少なくする。

2 施肥上の一般的注意

- (1) 基肥は全層に施用する。
- (2) 石灰資材の施用量は、作物による吸収量と施肥による流亡量に見合う量とする。
酸性改良のために施用する石灰資材は別途施用する必要がある。
- (3) 堆肥は土壌改良が目的であって、多施用でない限り成分は換算していない。
- (4) 野菜は一般に多肥栽培の品目が多いため、定期的な土壌診断による適正施肥管理や緩効性肥料の利用、マルチ栽培等により肥料利用率を高め環境への影響を可能なかぎり少なくしていく必要がある。

きゅうり（ハウス）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり25,000kg(6月上旬まで)収穫目標のハウス促成栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	35	30	25
追肥	30	0	30
計	65	30	55

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgの施用は定植1カ月前までに全層にすきこむ。
- (2) 生ワラ施用の場合は、100kgに対し窒素成分750gを併用する。
- (3) 基肥は有機質か緩効性肥料を主体とする。
- (4) 追肥は、生育ならびに収穫期間等に合わせて、できるだけ回数を多くする。液肥の適用は省力的で効果が高い

きゅうり（夏秋）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり7,000kg収穫目標の青果用夏秋きゅうりを基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	20	26	15
追肥	20	0	20
計	40	26	35

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgを定植1カ月前に施用する。
- (2) 追肥は、収穫開始より生育に応じて5～6回に分施する。

す い か

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり6,000kg収穫目標の早熟（接木）栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	10	15	10
追肥	10	0	8
計	20	15	18

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは定植1カ月前に施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて4回以上に分施する。

か ぼ ち や

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり3,000kg収穫目標の早熟栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	5	15	7
追肥	17	0	13
計	22	15	20

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgを定植1カ月前に施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて4回に分施する。

し ろ う り

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり10,000kg収穫目標の加工用栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	30	15
追肥	15	0	15
計	30	30	30

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは定植1カ月前に施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて4～5回に分施する。

トマト（ハウス）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり12,000kg収穫目標のハウス促成栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	20	13
追肥	25	0	25
計	40	20	38

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 第1回追肥は、第1花房肥大期、第2回は第1花房収穫期、第3回は第2花房収穫期、第4回は第3花房収穫期の4回に分施する。

トマト（無加温ハウス）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり8,000kg収穫目標の無加温ハウス栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	12	20	13
追肥	25	0	20
計	37	20	33

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg以上、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、第3花房着花時期から、4～5回に分施する。

トマト（山間雨よけ・山間露地）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり収穫目標は、山間雨よけ栽培10,000kg、山間露地栽培8,000kgを基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	12	17	10
追肥	25	0	20
計	37	17	30

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 第1回追肥は、第1花房肥大期、第2回は第2花房収穫期、第3回は第3花房収穫期3回に分施する。

ミニトマト（雨よけ）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり6,000kg収穫目標の雨よけ栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	12	20	10
追肥	14	0	14
計	26	20	24

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg以上、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、第3花房開花期から草勢により7~8回に分施する。

ミニトマト（ハウス）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり10,000kg収穫目標のハウス長期栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	7	7	6
追肥	27	3	17
計	34	10	23

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、第3花房開花期から草勢により月に2~3回施用する。

な す (ハウス)

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり15,000kg収穫目標のハウス促成栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	30	30	20
追肥	30	0	30
計	60	30	50

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、収穫開始1ヶ月後から開始し、樹勢をみながら1回の施肥量を少なくして回数を多くする。

夏 秋 な す

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり10,000kg収穫目標を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	30	50	20
追肥	30	10	30
計	60	60	50

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg以上、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 基肥は有機質肥料か緩効性肥料を主体とする。
- (3) 追肥は、生育・収量をみながら1回の施肥量を少なくして回数を多くする。

ピーマン・シシトウ

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり6,000kg収穫目標の露地栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	20	10
追肥	20	0	20
計	35	20	30

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg以上、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、定植10日後、その後15日毎に4~5回分施す。収穫期間が長いので肥切れのないよう適宜加減する。

いちご（ハウス）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり4,000kg収穫目標のハウス促成栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	17	16	10
追肥	17	6	15
計	34	22	25

3 施用方法及び留意事項

- (1) 基肥は有機質肥料か緩効性肥料を主体とする。
おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは定植1ヶ月前までに施用する。
- (2) 追肥は、頂果が白熟化しかける頃から施し、以後果実の肥大にともない、7~10日毎に1回窒素成分で液肥を1kg施用する。

オ ク ラ

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり3,000kg収穫目標の露地栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施 肥 時 期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	8	12	10
追 肥	30	7	30
計	38	19	40

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、着果確認後から生育に応じて月に2~3回施用する。

オ ク ラ (ト ン ネ ル)

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり4,000kg収穫目標のトンネル栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施 肥 時 期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	8	12	10
追 肥	37	9	37
計	45	21	47

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、着果確認後から生育に応じて月に2~3回施用する。

スイートコーン

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり1,500kg収穫目標の栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	18	12	15
追肥	13	0	13
計	31	12	28

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。
- (2) 追肥は、本葉7～8枚頃、雄穂発生時に施用する。

実えんどう

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり1,500kg収穫目標の水田裏作えんどうを基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	4	15	10
追肥	6	0	10
計	10	15	20

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥1,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。
- (2) 追肥は、2月中旬から4月下旬までに3～4回分施す。

さやえんどう

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり800kg収穫目標の栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	3	10	8
追肥	7	0	7
計	10	10	15

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥1,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。
- (2) 追肥は、2月末から4月上旬までに3回分施する。

いんげん

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり1,500kg収穫目標の露地栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	10	15	10
追肥	8	0	5
計	18	15	15

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。
- (2) 追肥は、本葉の出はじめからつるが1m伸びる頃までに3回分施する。

そ ら ま め

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり1,000kg収穫目標の栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	6	20	13
追肥	7	0	7
計	13	20	20

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて2回に分施、2月下旬までに施用する。

え だ ま め

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり800kg収穫目標のトンネル栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	8	8	8
追肥	2	0	2
計	10	8	10

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥1,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは、耕起時に施用する。
- (2) 基肥は全層施用する。
- (3) 追肥は開花始めから開花期に施用する。

キ ヤ ベ ツ

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり5,000kg収穫目標の夏まき冬どり栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	16	16	16
追肥	18	0	18
計	34	16	34

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて3回に分施し、止め肥は結球開始頃とする。

こ ま つ な

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり1,000kg収穫目標の露地栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	10	10	10
追肥	0	0	0
計	10	10	10

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。

ほうれんそう

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり2,000kg収穫目標の露地栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	13	13	13
追肥	10	0	7
計	23	13	20

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥1,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは荒起し時に施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて3回に分施し、最後の追肥は葉がこみ合うまで施用する。

なのはな

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり800kg収穫目標の露地栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	21	11	15
追肥	8	0	8
計	29	11	23

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、発蕾前から3~5回に施用する。

細ねぎ（ハウス）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり2,000kg収穫目標のハウス栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	20	15	25
追肥	5	0	5
計	25	15	30

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材は例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 基肥主体とし、追肥は主として冬春どりに使用する。

青ねぎ

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり2,500kg収穫目標の春まき栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	15	15
追肥	15	0	20
計	30	15	35

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて3~4回に分施する。

チンゲンサイ

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり2,000kg収穫目標の露地栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	15	15
追肥	0	0	0
計	15	15	15

3 施用方法および留意点

(1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。

ブロッコリー

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり収穫目標ブロッコリー1,000kgの12~2月出荷栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	19	12	17
追肥	16	0	16
計	35	12	33

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて2~4回に分施し、発蕾初期を止肥とする。

カリフラワー

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり収穫目標カリフラワー3,000kgの12～2月出荷栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	16	10	14
追肥	12	0	12
計	28	10	26

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて2～4回に分施し、発蕾初期を止肥とする。

はくさい

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり6,000kg収穫目標の秋冬どり栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	14	16	26
追肥	7	0	0
計	21	16	26

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは荒起し前に施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて3回に分施し、止め肥は結球開始頃とする。

レタス

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり2,000kg収穫目標の露地・トンネル栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	26	22	24
追肥	0	0	0
計	26	22	24

3 施用方法および留意点

(1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。

ふき（ハウス）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり10,000kg収穫目標の春どり栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	35	25	22
追肥	25	13	19
計	60	38	41

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥3,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。
- (2) 追肥は、3回に分施する。

ふき（加工用）

1 施肥基準設定の基礎

10a 当たり6,000kg収穫目標の加工用栽培を基準として設定する。

2 10a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	16	10	14
追肥	29	5	29
計	45	15	43

3 施用方法および留意点

- おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは定植1カ月前に施用する。
- 追肥は、生育に応じて7～8回に分施する。

たけのこ

1 施肥基準設定の基礎

10a 当たり1,000～1,500kg収穫目標の栽培を基準として設定する。

2 10a 当たり施肥量(kg)

	施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
一般地 (収量1,000kg)	2～3月（筍の肥大期）	6.0	3.0	3.6
	5～6月（地下茎伸長期）	8.0	4.0	4.8
	9～10月（貯蔵栄養分蓄積期）	6.0	4.0	3.6
	計	20.0	10.0	12.0
好条件地 (収量1,500kg)	2～3月（筍の肥大期）	10.2	5.1	6.3
	5～6月（地下茎伸長期）	13.6	6.8	8.4
	9～10月（貯蔵栄養分蓄積期）	10.2	5.1	6.3
	計	34.0	17.0	21.0

3 施用方法および留意点

- おがくず牛ふん堆肥2,000kg、珪カル（一般地では60kg、好条件地では90kg）は3月の収穫前に施用する。

た ま ね ぎ

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり7,000kg収穫目標の普通栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施 肥 時 期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	1 2	1 5	1 0
追 肥	1 0	0	1 0
計	2 2	1 5	2 0

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて2回に分施する。

じ や が い も

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり1,500kg収穫目標の春ばれいしょ栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施 肥 時 期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	1 2	1 2	1 0
追 肥	1 0	0	8
計	2 2	1 2	1 8

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは植付1カ月前に施用する。
- (2) 追肥は、萌芽10cm、30cmの2回に分施する。

さ と い も

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり3,000kg収穫目標の普通栽培（セレベス）を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	8	13	20
追肥	15	0	10
計	23	13	30

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。
- (2) 追肥は、生育に応じて4回に分施する。

さ つ ま い も

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり2,500kg収穫目標の砂地早掘り栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	4	10	15
追肥	4	10	12
計	8	20	27

3 施用方法および留意点

- (1) 追肥は植付後40日前後（いも着生始め頃）から施す。

れんこん

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり2,500kg収穫目標の普通栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	10	24	22
追肥	17	10	17
計	27	34	39

3 施用方法及び留意事項

- (1) 石灰窒素は腐敗病防除をかねるため早めに施用する。
- (2) 基肥の窒素には石灰窒素の窒素成分を含む。
- (3) 追肥は立葉2~3枚時（5月下旬）、立葉4~5枚時（6月中旬）、立葉伸長期（6月下旬）に分施する。

れんこん（ハウス）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり1,500kg収穫目標のハウス栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	10	18	34
追肥	0	0	0
計	10	18	34

3 施用方法および留意点

- (1) 基肥は原則として、1月下旬までに施肥する。

だ い こ ん

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり7,000kg収穫目標の青果用秋冬どり栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	9	9	9
追肥	15	0	10
計	24	9	19

3 施用方法および留意点

- (1) 砂地畑における苦土石灰は、アルカリ性の土壌では施用しない。弱酸性の土壌では40～60kgを施用し、弱酸性の土壌では60～120kgを施用する。
- (2) 堆肥1,000kgを播種1ヶ月前までに施用する。(砂壤土)
- (3) 砂地畑地帯の青果用だいこんの場合は、ホウ素、マンガンなどの微量元素を施用する。
- (4) 追肥は、生育に応じて3回に分施する。

にんじん (トンネル)

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり4,000kg収穫目標のトンネル栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	18	20	22
追肥	0	0	0
計	18	20	22

3 施用方法及び留意事項

- (1) 前作が終わりしだい速やかにおがくず牛ふん堆肥2,000kgを施用する。
- (2) 石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。

ご ぼ う

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり5,000kg収穫目標の6～8月出荷栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施 肥 時 期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	5	12	5
追 肥	15	0	10
計	20	12	15

3 施用方法および留意点

- (1) おがくず牛ふん堆肥1,000kgは前作に施用する。
- (2) 石灰資材例えば苦土石灰100kgは基肥時に施用する。
- (3) 追肥は、生育に応じて3回に分施する。

か ぶ

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり3,000kg収穫目標の露地栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施 肥 時 期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	11	12	10
追 肥	0	0	0
計	11	12	10

3 施用方法及び留意事項

- (1) おがくず牛ふん堆肥2,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。

かぶ（トンネル）

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり3,000kg収穫目標のトンネル栽培をを基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	18	20	18
追肥	0	0	0
計	18	20	18

3 施用方法および留意点

(1) おがくず牛ふん堆肥1,000kg、石灰資材例えば苦土石灰100kgは早めに施用する。

た ら の め

1 施肥基準設定の基礎

畦幅200cm、株間50cm、1条植えの10a 当り2000本の仕立て本数を基準とする。

2 10 a 当り施肥量(kg)

1年生

施用時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	5	5	5
追 肥	0	0	0
計	5	5	5

2年生

施用時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基 肥	7	7	7
追 肥	3	3	3
計	10	10	10

3 施用方法および留意点

- (1) 基肥前に石灰資材(例えば苦土石灰)を100kg/10a程度施用する。
- (2) 基肥は3月下旬頃、追肥は6月中旬頃に施用する。

その他の野菜

作物 (目標収量)	施肥時期	10a当たり施肥量 (kg)		
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O
しょうが ハウス栽培 (2,000 kg)	基肥	20	20	10
	追肥	14	0	14
	計	34	20	24
白ねぎ (3,000 kg)	基肥	6	6	6
	追肥	24	24	24
	計	30	30	30
ハウスメロン (3,000 kg)	基肥	15	15	15
	追肥	2	2	2
	計	17	17	17
ツルムラサキ (3,000 kg)	基肥	15	15	15
	追肥	10	0	5
	計	25	15	20
のぎわな (4,500 kg)	基肥	15	10	15
	追肥	8	5	8
	計	23	15	23

作物 (目標収量)	施肥時期	10a当たり施肥量 (kg)		
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O
にがうり (3,000 kg)	基肥	15	15	15
	追肥	5	0	5
	計	20	15	20
みずな, みぶな (4,000 kg)	基肥	10	10	10
	追肥	0	0	0
	計	10	10	10
サンチェ	基肥	15	15	15
	追肥	0	0	0
	計	15	15	15
しそ	基肥	15	15	15
	追肥	10	10	10
	計	25	25	25
ルッコラ	基肥	15	15	15
	追肥	0	0	0
	計	15	15	15
山ぶき (2,000 kg)	基肥	10	15	8
	追肥	15	0	12
	計	25	15	20

作物 (目標収量)	施肥時期	10a当たり施肥量 (kg)		
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O
パセリ (2,500 kg)	基肥	15	15	15
	追肥	30	10	15
	計	45	25	30
みょうが (500 kg)	基肥	8	13	6
	追肥	4	2	3
	計	12	15	9
しゅんぎく ハウス栽培 (2,000 kg)	基肥	23	26	11
	追肥	7	0	0
	計	30	26	11
らっきょう (3,500 kg)	基肥	12	12	12
	追肥	8	10	12
	計	20	22	24
にんにく (2,000 kg)	基肥	24	20	19
	追肥	6	0	4
	計	30	20	23